



丸野 隆大 議員



丸野議員
の動画

ふるさと納税リピーター確保策を問う

ふるさと納税リピーターの現状

丸野議員

ふるさと納税を安定的に確保しさらに増額させるために、単年限りでなく翌年以降も寄附しているリピーター確保が重要課題と考える。

リピーター確保策の現状を問う。

寄附者数・寄附額とともに リピーター数も増加傾向

村 長

ふるさと納税の安定財源化にはリピーター確保が重要。そのためには南阿蘇村の魅力を知ってもらい、村のファンになってもらうことが基本。返礼品の質向上に加え、国の制度変更に対応しながら価格や内容を柔軟に見直し、満足度向上を図っている。

令和7年度に寄附された方のうち過去にも寄附をされたことのあるリピーター数を集計すると、令和3年度526人→令和6年度が2,457人となり、全体としては増加傾向。

令和7年度は寄附者数 約44,000人・寄附額 約15億円と高水準。今後はSNSやDMで観光・イベント情報を継続発信し、定期便、発送迅速化、主力の米商品「阿蘇びより」を中心としたレビュー促進、特設HPでの生産者紹介や用途の見える化を進める。加えて、すでに取り組んでいるPRイ

ベントやトップセールスを通じて認知度向上とファンづくりを強化する方針。

リピーター確保策強化のための提案

丸野議員

報告のあった数値をみると、寄附者数・リピーター数の多さと寄附総額の高さが必ずしも比例していない。その分析も今後のふるさと納税政策、リピーター確保策に生かして欲しい。

費用対効果の高い商品作成や寄附者との強固な関係性づくりのため2点提案したい。

【提案】

- ①熊本城の復興城主のようなガバメントクラウドファンディング（以下GCF）型のメニューを増やすのはどうか。
- ②村の子どもが描いた絵を印刷したお礼状を返礼品に同梱するのはどうか。

村 長

- ①近年養生を続けている「一心行の大桜」の治療等にGCF活用をすでに検討中。また、登山道や遊歩道の整備にクラウドファンディングを活用できないか民間企業や環境省などと水面下で協議中。
- ②DM等で南阿蘇村を思い出していただくための案の一つとして、子どもたちの絵の採用を検討したい。



←こちらの絵がポストカードサイズになって、ふるさと納税返礼品に同封されることになった。